



# ニュースレター あすか

2009  
9月号

通算 198 号

2009年9月1日

**あすか療養センター内に新しいデイサービスが誕生しました！  
名前は「野の花」です。どうぞよろしくお願ひします。**



デイサービスセンター  
野の花リーダー  
宮崎 馨

8月1日新しいデイサービスセンター「野の花」が誕生しました。

「野の花」は、今井恵美子さんの美術館「野の花美術館」にちなんでつけました。

玄関に入ると今井さんの大作「百合」「さつき」「菖蒲と水すまし」が迎えてくれます。窓からは広島市内が一望でき、自然がいっぱいの環境の中で生きがいや喜びのあふれるデイサービスを作っています。

あすか療養センターには診療所、入院施設、ショートステイの事業所があり、みなさまのニーズに応じた医療、介護サービスを提供することが出来ます。また、これらの施設が同じ建物内にあることでなじみの場所、なじみの職員との関係を築きやすく、やすらぎの時間を過ごしていただけたらと思います。

デイサービスでは、園芸、音楽、書道など多彩なプログラムを楽しんで頂きます。また、リハビリにおいては、トレーニンゲマシンや平行棒等を備え、お一人おひとりに合ったトレーニングプランを立てて実施します。

これから、スタッフ一同努力して参りますのでよろしくお願ひいたします。



▲ 1階 野の花のフロアー



▲ 5階の屋上には、市内を眺望できる足湯

“ニュースレターあすか”は当法人のホームページ上でも  
見ることができます

<http://www.asuka-net.or.jp>

発行元：医療法人あすか

(編集：浜本 正美)

住所：〒731-0103

広島市安佐南区緑井2丁目12-25

TEL:082-879-3143

FAX:082-879-3190

### 【目次】

### 【ページ】

1. 作家 五木寛之氏 講演会に参加して・・・2
2. 被爆二世健康診断・・・3
3. あすか事業所だより・・・4
4. あすか事業所だより・・・5
5. おもしろきかな我が人生  
～西野 登美子さん・・・6
6. 若竹句会 7月作品抄・・・7
7. あすか療養センターが一周年を迎えました・・・8
8. 『つどい広場』で音楽を楽しむ

# 作家 五木寛之氏

## 講演会に参加して

副院長 高橋 真弓



作家 五木 寛之氏

代表作 「風に吹かれて」  
「大河の一滴」  
ほか多数

去る6月13日、私が所属しているポランティアグループで作家五木寛之氏をお招きして講演会を開催しました。五木氏の中国新聞朝刊の新聞小説「親鸞」は、いよいよ佳境に入り多くの読者をひきつけています。こんなタイミングでお話を聞く機会を得たことはとてもラッキーでした。五木氏のお話は、不透明で不安な時代を生きる私たちに「たおやかに生きていく力」を与えてくれるものでした。時代を読み解き、自分の心を見直す力がかりを与えてくれる「五木ワールド」を誌上で体験していただければと思います。

## 五木寛之氏講演抄録

### 「今を生きる力」

#### 昭和一ケタ生まれ、戦後の日本を見つめて

自分の人生を振り返ってみても、最近は何となく世の中がずいぶん変わったように思う。15歳の高校生が

ひったくりの犯人を捕まえてみたら警官だったという事件がありました。その高校生の感想は「世も末だ」いみじくも現代は末法なのかもしれない。「末法」は平安中期の思想である。日蓮・法然・道元が登場した時代の、美しい浄土往生思想ののだが、そういう意味では現代にもこいつった高僧の再来があるのかもしれない。

#### 戦後50年、躁の時代を終えて

現代は、天気为例えると曇り日から寒い風が吹いている、といったところだろうか。1980年代に常用漢字に認定されたものには、悠・癒・蛭・猫などがあつたが、最近のそれには挫・怨・呪・妬・潰・凄・萎・鬱などがある。漢字がその時代を象徴するならば、躁うつという医学用語を戦後の時代背景に当てはめると、1960年代から70年代は希望に燃える躁の状態だったといえよう。青い山脈という歌謡曲にも見られるように、貧しい中にも国民全体が希望に燃えていた。土門拳の炭鉱の子供たちを撮った写真集や軽井沢でテニスに興じる皇族の写真などには、ひたすら前を向いて進むという国民のあり方がよく出ている。ひるがえってこれからの日本は、まさに鬱の時代に入っている。

#### 「悲」の本当の意味

おおむね、素直で優しく、心根のいい人ほど傷つきやすい。以前、泣き出しそうなお顔の仏像を拝見したことがあり、その訳を尋ねたところ、もれなく衆生を救うべきところなのに、まだ苦しんでいる人がたくさんいるのはなぜか、と悩まれているからだと聞いたことがある。それはすなわち「悲」の発想

である。

「慈悲」という言葉は、「慈」と「悲」という本来は全く違う内容の字が背中合わせで合成されている。「慈」とは明るい励まし、前向きでフレンドリーなことであり、「悲」とは暗くて寂しく、思わずつめき声を上げたくなるような感情だ。「慈」の状態にあることが苦しいとき、「悲」はただ手を重ねて見つめあい、互いにすすり泣く。「共感」= compassionでも訳せようか。他人の苦しみは背負えない、けど同じ気持ちなんですよ、という意思の表れなのだ。阪神大震災の折、子供を亡くした母親へ、「レポーターがあまりに明るい声で、がんばってください」と言葉をかけたことに、作家の田辺聖子さんは大変立腹したという。絶望に打ちひしがれたこの母親に何をがんばれと言うのか。この場合は「慈」ではなく「悲」の感情で接するべきだったのだ。「悲」をマイナス思考ととらえている結果なのだろう。

#### 下り坂の時代を生きる

「笑う」とき、特に心の底から笑いたいときは、まずはきちんと嘆き悲しむことから始めなければいけない。大地に寝ころび、地をかきむしるような悲しみを経験しないと、本当の意味では笑えない。登山のゴールを、無事に家にたどり着くことだとすれば、下山こそ大事になってくる。上るだけが登山ではない。景色や高山植物を愛でながらの下山を楽しんでこそその登山なのだ。現代の日本を下山の時代と言うならば、こいつった下りのときにはいるんなものが集大成する実り多い時となる。いわゆる「下山の文化」とでも言おうか。平安末期は、没落貴族と台頭し始めた武士があやうい均衡を保って共存していた時代だが、立派な平安文化が形成されている。

鬱のとらえ方、悲しみとの付き合い方

「鬱」という字には2つの意味がある。一つは草木が勢いよく伸びる様子、エネルギーにあふれる状態で、鬱蒼・鬱然など気力にあふれた様を表す。残る一つは落ち込んだ状態、鬱々とした、と表現されるさまである。と考えれば、鬱とは強いエネルギーが何かで蓋をされた状態であろう。石川啄木も書いているように「社会閉塞の現象」なのだ。大変なパワーの持ち主だからこそ鬱になるのである。そう考えると鬱だから薬をもらえば楽になる、という安易な発想は改めなければいけない。

本居宣長は、人間の悲しみはごまかしてしまつと一生つきまとう。悲しいと思ひ大声でそれを叫ぶ、それが古今東西の詩になったのだ」と書いている。親鸞の生きた末法の時代は飢えと飢饉と戦乱で、鴨の河原には弔ってくれる人もない無数の屍がころがっていた時代だ。あの世へ往生するために法然が説いたのが「易行念仏」。一方、弟子の親鸞は、自分の罪を認め悪を見つめることだと説いた。一般に親鸞は理屈っぽいと思われているが、近親者の手になる書物によれば、情に厚い人であったらしい。今若者の間で読まれている蟹工船・カラマーゾフの兄弟、歎異抄なども、ある意味では鬱や罪悪感と向き合う作品だ。ロシア・チェコ・オーストリアといった下り坂の国で書かれたものだったからだろう。そういう意味ではアメリカも下り坂の時代に入ると予想される。

1929年、世界恐慌の始まりが世界的下り坂の始めであったように、戦後の躁の時代が50年続いたように、これからの50年は鬱の時代と諦めるべきだ。

この「諦める」とは、決してマイナスな意味ではなく、

「明らかにみきわめる」という意味である。そのため身構えをしておくことが肝要だ。これからは、法然・親鸞の説いたように、ひたすらにおすがりする「他力」の発想が生きてくる時代になるだろう。

後世に書かれた親鸞の口伝書によると、人の死に際して、大いに悲しむのは、誰もかそう感じるあたりまえのことであり、だからこそ「他力」に救われる、とある。お酒のことを「忘憂」ともいうのは、葬儀の席で互いに杯を重ねつつ、亡き人の思い出話をしているうちに、泣き、笑い、そして本当の意味でのお別れができる、ということからなのだ。古代の日本では死者を穢れていると考えていたため、高僧は近づくとがでなかつたが、平安末期からは念仏を唱えていた人には穢れはないとされ、在野の聖として僧も弔いにたずさわるようになった。

しなやかに生きる＝初めに悲しみありき

人は立ち止まり、振り返って、溜息をつきながら生きていかなければいけない。「堂々と、常に前向き」というのはある意味で傲慢である。金沢の兼六園では、太くて堅い枝ほど折れやすいので雪つりを必要とし、やわらかくしなる枝は雪に強い。

「萎」＝しなえる、しなびる、の意味はうつむいて嘆き萎える人ほど心折れることなくしなやかに生きる、という意味だと考えたい。

出息・入息という言葉がある。吐く息と吸う息のことなのだが、まずは溜まったものを吐き出さなければいけない。思いきり溜息をつき、吐ききったあとは、何の苦勞もせずにくさくさんの新鮮な空気が吸えるのだ。

以上

当院でも受けれます！

～被爆二世健康診断～

被爆二世で、受診希望者を対象に行います。



- 【実施期間】 平成21年7月13日～平成22年2月27日
- 【申込方法】 専用申込みはがきに、必要事項を記入のうえ下記受付期間中に投函して下さい。申込みはがきは当院にもごさいます。後日、自宅に受診票が送付されます。(広島市のホームページの電子行政サービスのページから電子申請による申込みもできます。)
- 【受付期間】 平成21年7月1日～平成22年1月15日(消印有効)
- 【健診場所】 所定の医療機関
- 【受診方法】 当院で受診を希望される方は、受診票を受け取った後に、事前に必ず受診日程をお問い合わせください。
- 【検査項目】 視診・問診・聴診・打診・及び触診による検査、血液検査、尿検査、血圧測定、肝機能検査
- 【費用】 無料です。なお、受診に伴う交通費は支給されません。

その他、詳しいことは受付または看護師にお問い合わせください。

高橋内科小児科医院 TEL082-879-3143



つどいの家

6/26

7/14

縮景園

ドライブ遊園

予てから計画していましたが、縮景園へのドライブ遊園を、梅雨の合間をぬって実行しました。ご利用者様それぞれに十数年振り、数十年振りの景観に、驚きと喜びを隠せない様子でした。また縮景園へ行く道中の車の中でも、「あの高いビルには、人が住んでおられるんですかいのお。わたしあ、恐ろしゅうてよう住まん。」と、道路や市街地の様々な変容振りに驚いておられました。暑い時期ではありませんでしたが、それ以上に目の保養と自然の中で空気を吸えたことが、疲れを忘れさせるくらい満喫して頂いたようで、帰宅後も余韻に浸っておられました。

これからは、盆踊りや花火大会など納涼イベントが目白押しなので、どんどん外出してご利用者様の英気を養っていききたいと思います。



縮景園の象徴 ここうきょう 跨虹橋にてハイピース!



まやるちよーく

6/29

音頭の舟歌  
発表会

毎年恒例の音戸の舟唄の発表会を行いました。例年行事ではありませんが、緊張される反面、いつも以上に大きな声や気持ちを込めて唄って下さいます。今年も、特に力を入れ練習した掛け声に成果が表れ、唄われるご利用者様と掛け声を掛けられるご利用者様と一体化し、とてもよい発表会となりました。

講師の先生も、「この為に頑張った良かった。」とご満悦でした。現在は年末の年忘れ発表会に向け練習中です。



▶ マイクを凛々しく握って、舟唄



はあ～ どっこい～ さっさと



▶ 真剣な眼差しがキラリ



ショートいわや

七夕

7/7



▲ いわやのひこ星とおり姫です

7月7日、七夕会を行いました。笹に飾る短冊や飾りは事前に「ご利用者様が丁寧につってください、笹にきれいに飾ってくださいました。短冊の紹介では、「おいしいものがたくさん食べられますように」、「いつまでも元気でいられますように」などご利用者様が思い思いに書かれていました。中には、「宝くじがあたりますように」と願い事を書かれている方もおられ、フロア全体が笑いに包まれました。その後、みんなで『七夕』を歌い、午前中にご利用者様が作られたゼリーを皆様でおいしく頂きました。



どこに飾ろうかなあ

しゅりあちよーく

野ばら

7/11

サマーコンサート



- ・「懐かしくて楽しかった。」
- ・「皆で歌う歌は気持ち良い！」
- ・「耳が遠くても聞こえるから楽しかった。」

などの感想をご利用者様から多数頂きました。

クラリネットアンサンブル「アリオーソ」の方々による夏のコンサートが開かれました。クラリネットによる演奏に、「この曲知ってる!」「この曲は有名なんですよ」などお話しされながら、皆様、楽しそうにご観賞されました。  
また、コンサートの最後にはクラリネットによる伴奏でご利用者様が「昭和歌謡史」を合唱されました。大きな声で気持ちよく歌われる方、目を閉じじつと聴き入っていらっしゃる方など、皆様それぞれにご堪能されたようです。

ショートみどりい

お茶会

7/14



▲ ご指導ありがとうございます

あじさい羹と抹茶 ▶



初めての「お茶会」を行いました。  
午前の部では、お茶を楽しむための水菓子作り(あじさいを型取った水菓子)をご利用者様とスタッフで手作りしました。  
午後の部では、ご利用者様に浴衣姿のスタッフが茶筌の使い方や、茶碗のむきなどを指導して頂き抹茶をたてました。また、ご自分で抹茶をたてられるご利用者様もおられました。最後は「よい、お手前で、「おいしいゆづごさいました」と静かで落ち着いた雰囲気を楽しめました。



すてっぴ  
にし  
西野

とみこ  
登美子さん



# おもしろきかな我が人生



昭和2年2月6日(82歳)

お住まい...安佐南区安東

趣味...洋裁・和裁



「孫の成人式の着物は私が仕立てたのよ。とても綺麗だったよ。」

## 子供時代

私はね、祇園で8人姉妹の7番目に生まれたんよ。私が6歳の時にお母さんが亡くなったんじや。けど、お姉さんとおばあちゃんがお母さん代わりをしてくれたんよ。お父さんに再婚の話があったんじやけど、お父さんは「お酒が女じゃ」と言っていて、ようお酒を飲みよったよ。じゃええ私らが学校へ行きよる時に、お父さんが運動会で弁当を持ってきちやるって言うたんじやけど、なかなか来んけえ、お姉さんと一緒に家に帰ったら、お父さんがお酒飲んで一升瓶抱えて寝とったんよ。笑えるじやろ。

私は、おてんばだったけえ走るのが一番じゃったよ。運動が好きじゃったし、負けるのが嫌じゃったけえね。

あと、姉妹でよう遊びよったけど、よう覚えとるんが、6番目のお姉さんと妹と3人で縄跳びをしようって、私と妹が縄を回してお姉さんが飛んだんじやけど、勢いが良すぎて肥え壺に落ちてしもうたんよ。あん時は大変じゃったねえ。

昭和18年に尋常高等学校を卒業してから被服廠に入ってねえ。兵隊さんの靴を作ったり、服を縫う仕事をしようたよ。ミンツこうてからやりよったんよ。終戦前には庄原へ工場自体が疎開して、そこで仕事をやりよったんじやけど、広島に原爆が落ちてねえ。すぐに被服廠の人達と市内に戻って、3日間くらい同僚を探しよったんよ。大変じゃったんよ。そして、そのまま広島で終戦を迎えたんよ。昭和23年に祇園にあった三菱重工の庶務課で働いたんよ。

## 結婚

昭和27年に主人と恋愛結婚したんじやけど、1つ下でねえ、デートは比治山に行つて桜を見ながら話をしようたよ。懐かしいねえ。

子供は3人生まれたけど、子育てはあまり大変じゃなかつたよ。みんな手がかからなかつたんよ。

今、すてっぴで働いとる長女は、人見知りする子じゃったんよ。けど、中学、高校生くらいから変わったねえ。自分できちんと何でもする子じゃったけえ、いつ車の免許を取つたのかも知らなかつたよ。ほんま、ようやつてくれるよ。

私はね、ようケガをしたんよ。小さいケガじゃなくて、大きいケガをやるけえいけんよねえ。長女が小学校1年生の時に教科書を失くしたけえ、横川へ買いに行つたんよ。主人の運転するバイクに次女を抱いて乗つとつたら、そこへ車が追突したんよ。そのまま車が逃げたけえ、後ろのタクシーが追いかけてくれたんよ。抱っこしとつた次女は大きなケガは無かつたんじやけど、私は左の目の奥を6針、主人は顔を20針くらい縫つてから、10日間くらい2人とも意識無かつたんよ。他にも、足の上がガラス板が落ちて、足の指がちぎれそうになつたり、バスから降りようとしてこけて、大ケガをしたんよ。じゃけえ、健康が一番よ。

## 今の楽しみ

最近よう転びよったけえ、転ばんようにするために娘に勧められてすてっぴに通い始めたんよ。今の楽しみは、すてっぴに来ることなんよ。週1回来てみんなと話をしたり、話を聞いたりするのが楽しみなんよ。じゃけえ1週間がすごく待ち遠しいんよ。

あとは、孫に会いに行くのも楽しみなんよ。神戸の孫の所へ1週間から10日くらい行つて、横浜の孫の所へ1カ月くらい行くんよ。今年は横浜の孫の成人式に合わせて行つたんよ。着物姿がとても綺麗じゃったよ。でも、この着物は私が縫つたんよ。最初の孫の時に作つてから、次の孫の時に直して、今回も私が手直ししたんよ。じゃから、喜びもひとしおなんよ。これからも、すてっぴでリハビリを頑張つて孫の所へ行くけえねえ。



▶お二人とも、とってもおきれいです。お着物もとても華やかでよく似合っています。

西野さんが仕立てられた、お孫さんの着物がとても素敵でした。これからモリハビリ頑張つて下さい。

すてっぴ 小西 正文





# 若竹句会 七月作品抄

## 信廣高陽 選 (平成二十一年)

### 盆栽の 青梅実り 二度楽し

中谷 明子

〔寸評〕梅雨に入るころ、梅の若葉が茂ってくると、梅の実が太り始めます。これが二度目の楽しみ。一度目は初春の梅見、まだ肌寒い頃の梅見茶屋を思い出します。「二度楽し」として、一度目は省略して読者の想像に任ずることにした技巧は見事。

### 六月や 雨に縁なき 空仰ぐ

中谷 明子

〔寸評〕六月は空梅雨で、ダムの洩れや田植えのできない話でもちぎりでした。若い方に雨乞碑の話をする、信じられない素振りを見せていました。

### 市街化は 早乙女姿 テレビにて

中谷 明子

〔寸評〕市街化が進むにしたがって、田んぼも少なくなり、早乙女姿もテレビで見られなくなった、という叙情俳句。



### 帰り道 暗きに栗の花にほふ

栗根 年雄

〔寸評〕初夏の頃、長さ十〜一五センチの毛虫に似た白い花穂を垂らし、青臭い匂いをブンブンと漂わせ、暗がりでも気がつくほどです。参考までに「穂状の部分に雄花が密生し、基部に雌花が着く。受粉が終わると雄花は褐色に変じて落ち、悲惨な姿態をさらすことになりました。」

### 早乙女も 老いて田植機 眺め居り

栗根 年雄

〔寸評〕早乙女にとって変わったのが田植機である。どんな気持ちで眺めているのでしょうか？大花田植の早乙女姿がますます重宝がられることでしょう。

### 幸せに 六月挙式 孫娘

栗根 年雄

〔寸評〕六月の花嫁、六月に結婚すると幸せになるというジューンブライド。この一句を是非短冊に。

### 夏なかば 嵐の前の しずけさや

小西 春良

〔寸評〕夏を初夏・仲夏・晩夏と分類したときの「夏なかば」に当たります。夕立、雷、虹などが出番を待つ「盛夏」の少し前のことを詠っているのですね。

### ペゴニアの 花は秋まで つづきそつ

小西 春良

〔寸評〕ペゴニアは元来夏の花ですが、園芸化が進んで、現在は夏から秋まで咲き続け、花の色も白、ピンク、赤、紅白の斑入りもあります。花期の長くなったペゴニアの特徴をよく掴んでいます。



### 空梅雨や 田植どつする 水不足

小西 春良

〔寸評〕空梅雨の世評をそのまま一句に仕上げましたね。

### 野も山も 青葉色濃く 空は晴

常広 信枝

〔寸評〕初夏の若葉が生い茂って青々とした生気をみなぎらしているさまを上手に詠んでいます。

### 老いるとも ひとりできる 更衣こしつせがえ

常広 信枝

〔寸評〕「更衣」は衣を更かえて身も心も軽やかに、清々しくなった新鮮さを主として詠むものですが、「ひとりできる」という見方は新しい発見です。

### しっかりと 根をおろすなり 夏の草

常広 信枝

〔寸評〕夏草は、夏にはびこって生い茂る草で、刈っても刈っても生えてくる。反射的にしっかりと根をおろして生命を保とうとする夏草の意地が伝わってくる。

選者 吟

親子して しゃがみ込みたる 虫の夜 信廣 高陽

### あすか療養センターが

### 一周年を迎えました

あすか療養センター センター長

大北 和彦

あすか療養センター「いわや」が「8月1日」で1周年を迎えました。センターは医療施設である毘沙門クリニックと入院施設、それにショートステイ施設あわせて62床の大所帯です。入院も、ショートステイもすべて個室で、出来るだけご自宅での生活に近い環境の中で家庭的なケアを行うため「ユニットケア」を取り入れました。1ユニット10人くらいの少人数で身近にみなさまの声を聴き、その生活を支えていくことにより、願いや希望を出来るだけ多く叶えていくことを目指したものでした。

開設前には職員を研修・見学に行かせたり教育計画を立て内部研修を実施したりもしましたが、実際始まってみると新しい建物・設備に不慣れなこともあつて、戸惑つことも多く試行錯誤の日々を重ねてきました。また、行き届かない点多く、いろいろご不自由をおかけしたことと思います。そんな中でも、みなさまが職員に対してまるでわが子、わが孫に接するように温かい目で見守ってくださつたことを厚く感謝しています。

当初は、家庭なのだからあまり細かい活動のプログラムを作らないで自由に過ごしていただければと思つていましたが、ご利用者の方々からあれもしたい、これもしたいというご希望をいただき、

さまざまな活動が始まっていきました。屋上の「展望足湯」もみなさまに喜んで頂いています。今後、医療施設、入院施設、ショートステイ、デイサービスを兼ね備えた複合施設の特徴を生かしてよりよいあすか療養センターを作っていきます。現在、ショートステイ、入院をご利用のみなさま全員にアンケートを取らせていただいています。どんな小さなことでもいいですのでご意見・ご要望をお寄せください。私たちの今後の発展の糧としていきたいと思ひます。

今年の8月1日からは1Fにデイサービスセンター「野の花」がスタートしました。あわせてよろしくお願いいたします。

### 『つどいの広場』で音楽を楽しむ

レクワーカー 国森 鈴子

いわやショート『つどいの広場』が始まり一年になるうとしています。音楽を中心に楽しく過ごす広場として木曜・土曜の午後の三時間、あつという間に過ぎるようになりました。ご利用者様お一人おひとりのお気に入りの歌を把握している途中ですが、童謡・唱歌・歌謡曲・民謡などの歌を通して、季節の行事や慣わしを教えて頂いたり、懐かしんだり、笑つたり、涙を流したり。

最近では 広島音頭にご利用者様と上肢の運動を兼ねた振り付けを考え『いわやオリジナル』として毎回楽しんでいきます。皆様の笑顔に元気を頂きながら「のたりのたりかな」

**3S**  
Specialist (専門家)

### ~ 医療法人あすかの理念 ~

職員は、医療、看護、介護の専門家 (Specialist) としての誇りを持ち、実力を高めていくよう努力を続けます。

当法人は ISO9001 の認証施設です



Sympathy (共感)

職員は、患者様と利用者様の人生全体を支えるためにその思いを共感し (Sympathy) 必要サービスを継続的に提供します。

Safety (安全)

職員は、患者様と利用者様の健康と安全 (Safety) に対して細心の注意を払います。

### 高齢者の在宅療養を支援します

緑井3丁目20・1・103

あすか居宅介護支援事業所

082・830・5177

あすか福祉用具貸与事業所  
あすか病児保育室

緑井2丁目12・25

高橋内科小児科医院

デイサービスセンター まやるちよーく

デイサービスセンター かるやんちよーく

通所リハビリテーション すてつぷ

ショートステイ みどりい

小規模多機能型居宅介護事業所 つどいの家

毘沙門台東1丁目24・16

デイサービスセンター しゅりあちよーく

デイサービスセンター 野ばら

あすか療養センター 緑井3丁目40・30

毘沙門クリニック

ショートステイ いわや

デイサービスセンター 野の花

### 【編集後記】

あすか療養センターのショートステイいわやが開設して一年を迎える8月、デイサービスセンター野の花がオープンしました。とても明るくて開放的な空間です。ご利用者様が安心して、楽しく通って頂ければと思います。

各事業所、七夕飾りにサマーコンサートと夏の催しが盛りだくさんです。